

榊山神社だより

令和8年7月
特別号

■ご挨拶

この「榊山神社だより」は毎年2回以上福岡区民に配布している神社の広報紙ですが、今回特別号として旧福岡町民に配布させていたできました。

日頃は各神社に對しまして多大なご理解とご奉仕誠にありがたき感謝の念に堪えません。

最近では少子高齢化、働き方改革等で祭りに参加される方がめっきり減ってきました。子供に至っては二十年前と較べると半数以下ですし、六十歳定年退職だったのが今や、七十歳に届こうとしています。尚且つ、女性の社会進出がめざましくなりました。この様な多様な社会の中で以前の様に神社のお祭りを多くの方の参加により工夫をこらして行なうことが困難になっております。

古来より神社環境は常に平坦ではありませんでした。コロナ禍の様に祭りができない時もあれば、創意工夫し盛り上げて皆を楽ししま

せる時代もありました。

少しでも地域の繋がりを大切に子供からお年寄りまで一つになつて取組むことが祭りであり縁を結ぶ大事な行事であります。

行事に参加することも大事、見てお参りして皆で笑い感動することもあり、この様な祭りをこれからも地域の人達で維持していきたいそんな考えのもと、今回榊山神社ではマルシェとコラボして二十五日二十六日の夏祭りを企画いたしました。二十五日が二十店舗、二十六日が三十一店舗でそのうち九店舗がキッチンカーとなつています。子供の楽しめる店舗、大人が楽しめる店舗、たこ焼き、からあげ、焼きそば、昔ながらの射的、釣りくじ・・・。

子供相撲を始め、子供神輿、子供ダンス、迫力ある太鼓の演奏、踊を交えた楽器演奏、富籤と多岐に渡って当番地区が盛り上げてくれます。

詳細に書ききれませんが新聞の折り込チラシを二十日前後に出しますのを見てお出かけください。

■巫女舞クラブ

福岡の榊山神社と高山の常磐神社で神事の際に巫女の舞を子供たちにして頂いていました。二区の小中学生中学生が対象で其々の神社で練習し監督していた訳ですが、令和五年小学校が統合されたことにより巫女の募集が区の子供限定に出来なくなり四区全ての子供対象に募集を掛け神社管理では無く巫女舞クラブとして管理監督をするように変更しました。田瀬の田瀬南宮神社、下野の白山神社もそれまで巫女舞いはありませんでしたが大祭の神事に巫女舞いを取り入れ盛況に執り行われる事となり活況にひと役買って頂いています。現在小学四年生から中学三年生が対象で今年は三名増え計十八名の子たちが毎週練習に励んでいます。巫女舞いの文化が根づき継承して頂ける環境づくりに各氏子の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



■伊勢の神宮式年遷宮

この地方を奥美濃または裏木曾と呼ばれ古来より伊勢の神宮の御用材を出す御杣山が付知、加子母にあります。令和十五年伊勢では二十年に一度の神宮の式年遷宮が行われます。

昨年六月、この中津川市に於いて御樋代木奉迎送祭が執り行われました。皆様の記憶に新しいことと存じます。今年は神社関係者主催で五月に御神木のお木曳き行事に中津川市より四十名、晴天で暑い中、鳥羽の二見興玉神社でお祓いを受け一泊し、翌日「エンヤ」の掛け声とともに総勢九百十八名からなる綱曳き行事に参加してきました。第六十三回神宮式年遷宮、千三百年の歴史の重みを感じ、外宮内宮の両宮をお参りして有意義な二日間を過ごして来



